

【SRA Holdings】Special Mail (No.253) 2026 年 2 月

(株)SRA ホールディングス代表取締役社長の小熊です。

本日、2026 年 3 月期第 3 四半期決算を発表しました。併せて、「決算付属資料」、「2026 年 1 月月次売上高速報」も発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

〔2026 年 3 月期 第 3 四半期業績(連結)前年同期比〕

■売上高＝ 7.9%の増収

■収益＝「粗利益」、「営業利益」、「経常利益」、「四半期純利益」の全てで増益

◎売上高：394 億 55 百万円(7.9%増)

・開発事業(0.5%減)：製造業向け等が減少

・運用・構築事業(1.6%増)：金融業向け等が増加

・販売事業(21.7%増)：金融業向けが(株)AIT で大幅に増加

◎粗 利 益：98 億 79 百万円(4.2%増) 粗利益率：25.0%(前年同期 25.9%)

◎販売管理費：40 億 72 百万円(4.1%増)

◎営業利益：58 億 07 百万円(4.2%増) 営業利益率：14.7%(前年同期 15.2%)

◎経常利益：66 億 39 百万円( 3.8%増) 経常利益率：16.8%(前年同期 17.5%)

◎四半期純利益：41 億 20 百万円(10.4%増)

売上高は、開発事業はわずかに減少したものの、運用・構築事業ならびに販売事業は増加し、特に販売事業が好調に推移した結果、39,455 百万円(前年同期比 7.9%増)となりました。損益面におきましては、販売事業の拡大やより収益性の高いビジネスへのシフト等を進めた結果、売上総利益は 9,879 百万円(同 4.2%増)、営業利益は 5,807 百万円(同 4.2%増)となりました。営業利益の増加に伴い、経常利益は 6,639 百万円(同 3.8%増)に、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,120 百万円(同 3.7%増)となりました。

なお、売上高、売上総利益、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する四半期純利益の全てにおいて 増収増益となり、第3四半期連結会計期間として過去最高額を更新しております。

〔2026 年 1 月 月次売上高〕

(株)SRA＝単月で前年比大幅増加、累計で前年比増加

(株)AIT＝単月・累計ともに前年比大幅増加

国内子会社＝単月で前年比減少、累計で前年比増加

海外子会社＝単月・累計ともに前年比増加

SRA については、単月売上高が 9 月から 4 か月連続で前年を上回っており、累計の前年比増加率は前月の 2.1%から 3.9%まで拡大いたしました。また、AIT は好調を維持しており、単月・累計ともに前年比 20%以上の増加率となっております。国内子会社については、一部子会社で前年の大幅増の反動減があったため単月では前年比減少となったものの、その他子会社でしっかりと支えており、累計では前年比増加を維持しております。また、海外子会社は、単月・累計ともに前年を上回って推移しており、全体として第 4 四半期も堅調な滑り出しとなりました。

＜発表資料＞ [https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index\\_2025.html](https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2025.html)

先行きにつきましては、為替や株式等の金融資本市場の不安定、物価上昇による個人消費や企業投資への影響など、依然として不透明感が拭えない状況が続いておりますが、年度末の「総仕上げ」に向け、売上の更なる拡大、収益性の向上にグループ全体で尽力してまいります。

なお、配当につきましては、昨年の中間決算の際にお知らせいたしました通り、期末配当金を予想比 10 円増額の 100 円とし、中間配当金 90 円合わせ年間配当金を前期比 10 円増配の 190 円とする予定です。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

以上